

[http://www](http://www.ckkc.kochi-u.ac.jp/) **国際・地域連携センター**
ニュースレター
<第2号>

〒780-8073 高知県高知市朝倉本町2丁目17-47

TEL:088-844-8555 FAX:088-844-8556

<http://www.ckkc.kochi-u.ac.jp/>

編集責任者：吉用

目次

- p1** はじめに
- p2** 地域連携・再生部門
(生涯学習部門)
- p3** 産学官連携部門
(産学官民連携部門)
- p4** 知的財産部門
- p5** 国際連携部門

はじめに

平成23年7月1日、国際・地域連携センター発足7年目を迎え、地域との更に強固な「信頼と絆」を目指し、生涯学習の機能と産学官民連携の中の自治体との連携業務を集約し、「生涯学習部門」を「地域連携・再生部門」に、「産学官民連携部門」を「産学官連携部門」に改組しました。

また、地域連携の更なる強化のため、センター2階に「自治体連携室」を設置しました。テレビ会議システムを本格稼働することで、地域とのつながりを一層強化します。既に幡多郡黒潮町、愛媛大学、農学部(物部キャンパス)などと遠隔通信しており、通信先は随時追加していきます。

新たな体制の下、センター業務に取り組んでまいりますので、ご相談などございましたら、いつでもセンターまでご連絡ください。



(左：受田センター長、
右：北添地域連携・再生部門長)

今号のピックアップ一覧

| 部 門 | 内 容 |
|-----------------------|--|
| 地域連携・再生部門 (生涯学習部門) | Topic1. 学習意欲ある市民に講義してみませんか？ Topic2. 出前、続々お届けします ～8月は中土佐町へ～ |
| 産学官連携部門 (産学官民連携部門) | Topic1. 大豊町「基石茶」を県外に売り込め！ Topic2. 大学が果たすべき地域貢献とは… |
| 知的財産部門 | Topic1. アジア最大のバイテク展示会でイノベーションテクノロジーが大注目！ Topic2. 6月8日 特許法等が改正されます ～今後のオープンイノベーションに向けた利便性向上へ～ |
| 国際連携部門 | Topic1. ショートステイ、ショートビジット 採択される Topic2. 7月19日、20日 海外留学説明会を実施 |

Topic 1. 学習意欲ある市民に講義してみませんか？

～「秋の公開講座」の学内公募～

地域連携・再生部門最初の企画として、「秋の公開講座」(10月～12月実施)の開講講座を学内公募します。「秋の公開講座」は、一般教養・現代的テーマなどで県民・市民に興味ある講座を開講し、広く地域の方々に学びの機会を提供していくものです。

募集講座は4講座程度とし、1講座最大5回までの講義(各回、講師交替可能)で開設のご提案をお願いします。公募の詳細は、国際・地域連携センター(地域連携・再生部門)のHP【新着情報】に掲載しています。また、学内向け掲示板(行事・イベント)にも掲載(7月1日)しています。ご応募お待ちしております。

ホームページ:<http://www.kochi-u.ac.jp/~wwwlife/2011/pdf/2011kobo.pdf>

Topic 2. 出前、続々お届けします

～土佐町、出前講座開講！ 中土佐町の講座決定！

6月30日(木)、土佐町での講座がスタート。第1回は「地域ブランドを創る！～高知の強みを活かす～」と題し、受田センター長による熱い講義が行われ、32名の受講者は熱心に聞き入っていました。



中土佐町の講座が決まりました。

中土佐町の出前講座が決定しました。町の担当者と「今、何を知りたいか、何が求められているのか」などの話し合いを持ち、地域のニーズに応じた講座としました。

| 日程 | 担当講師名 | 題目 |
|----------|----------------------------------|--------------------------------------|
| 8月3日(水) | 原 自然科学系農学部門准教授 | 中山間地における防災上の課題 |
| 8月10日(水) | 大年 自然科学系農学部門教授 | 東日本大震災を踏まえた沿岸集落の地震防災上の課題 |
| 8月17日(水) | 原 自然科学系農学部門准教授 | 地震による液状化災害の実態と対策 |
| 8月24日(水) | 原 自然科学系農学部門准教授 | 東日本大震災における沿岸集落および構造物の被害 |
| 8月31日(水) | 大年 自然科学系農学部門教授 原 自然科学系農学部門准教授 | 中土佐町における地震防災対策上の課題 (参加者との意見交換を含む) |

Topic 1. 大豊町「碁石茶」を県外に売り込め！

～碁石茶新需要創造協議会通常総会の開催～



6月23日(木)、高知県大豊町の伝統的な2段階発酵茶「碁石茶」の新しい需用を創造するため、「碁石茶新需要創造協議会通常総会」が、高知県工業技術センターにおいて開催されました。岩崎大豊町長をはじめ、(株)大豊ゆとりファーム、高知県商工労働部、高知県工業技術センター、高知県茶業試験場、高知大学医学部及び農学部の関係者が出席し、平成22年度に実施した農林水産省新需要創造フロントティア育成事業の成果報告と、平成23年度の商品開発と販路拡大に向けた取り組みについて協議しました。

また、総会終了後には中国料理に碁石茶をとり入れた創作料理を囲み、情報交換会が行われました。

Topic 2. 大学が果たすべき地域貢献とは

～公開シンポジウム「大学と地域貢献」～

今回のシンポジウムでは、高知県の核の再生と振興のために、特に高知市追手前・永国寺地区の一体集中整備、大学間連携による地域貢献等についてのパネルディスカッションが行われます。展示コーナーでは高知大学の地域連携事業や研究プロジェクト等の紹介を行う予定です。多数の方のご参加をお願いいたします。

日時:平成23年7月19日(火) 13時～17時

場所:高知県立高知追手前高等学校 芸術ホール

主催:土佐経済同友会

共催:高知県、高知市、高知大学、高知県立大学、高知工科大学、高知商工会議所

ホームページ:<http://www.tosadoyukai.com/symposium-0527.pdf>

プログラム

13:05 オープニング リマーク 久松朋水 土佐経済同友会 代表幹事

13:20 パネリスト・プレゼン 論点「貢献と連携の『具体化』に向けて」

①尾崎正直 高知県知事

②岡崎誠也 高知市長

③南 裕子 高知県立大学 高知短期大学 学長

④中田慎介 高知工科大学 地域連携機構 地域連携センター長

⑤受田浩之 高知大学 副学長 国際・地域連携センター長

15:00 パネルディスカッション

コーディネーター 千頭邦夫 土佐経済同友会 特別幹事

パネリスト 尾崎正直・岡崎誠也・南裕子・中田慎介・受田浩之

16:00 クロージング リマーク 西山昌男 高知商工会議所 会頭

Topic 1. アジア最大のバイテク展示会で イノベーティブマリンテクノロジーが大注目！



6月29日から7月1日の間、東京ビッグサイトで、バイオテクノロジーに関するアジア最大の研究成果・技術発表、展示の場となる「第10回バイオアカデミックフォーラム(併催 国際バイオEXPO)」が開催されました。

今年は、10周年記念講演として「日本から世界へ！復活の鍵は？」を共通テーマに、京都大学iPS細胞研究所の山中伸弥先生と(株)島津製作所フェロー田中最先端研究所の田中耕一先生が講演されるとともに、総勢150名におよぶ各大学、研究機関等の研究者による最新のバイオ関連研究成果のプレゼンテーションや約650社におよぶライフサイエンス関連メーカー、試薬メーカー、各大学等のポスター展示が行われました。

本学からは、イノベーティブマリンテクノロジー研究関係者3名の研究発表・ポスター展示を行い、多数の方々に来場いただき、研究内容を紹介しました。特に、津田教授の発表は立ち見が出るほどの盛況ぶりでした(左写真)。全国の企業から熱い注目を浴びており、今後の発展が期待できます。

本学からの発表者

- | | | |
|-------------|-----------|--------------------|
| ①複合領域科学部門 | 津田正史教授 | 「海洋微細藻由来の生物活性天然分子」 |
| ②テニュアトラック教員 | 寺本真紀特任講師 | 「海洋深層水の微生物資源の利用」 |
| ③テニュアトラック教員 | 小野寺健一特任助教 | 「海洋微細藻類の有用物質探索」 |

Topic 2. 特許法等が改正されます

～今後のオープンイノベーションに向けた利便性向上へ～

「特許法等の一部を改正する法律案」が、平成23年5月31日に可決・成立し、6月8日に法律第63号として公布されました。改正のポイントは、次の通りです。

- (1) ライセンス契約の保護の強化
- (2) 共同研究等の成果に関する発明者の適切な保護
- (3) ユーザーの利便性向上(大学・中小企業等の特許料減免期間の拡大 等)
- (4) 紛争の迅速・効率的な解決のための審判制度の見直し

特許庁法令改正関連のホームページ

http://www.jpo.go.jp/cgi/link.cgi?url=/torikumi/kaisei/kaisei2/tokkyohoutou_kaiei_230608.htm

Topic 1. ショートステイ、ショートビジット 採択される！

～学生の国際的視野育成へ～

本年度、新たに創設された日本学生支援機構(JASSO)の留学生交流支援制度(ショートステイ、ショートビジット)の採択結果が、6月28日公表されました。国際的な視野を持つ学生の育成と大学の交流プログラムや大学間ネットワークの構築等に寄与することを目的とした公募事業で、全国国公立大学、短期大学、高等専門学校を対象とし、3カ月未満の学生受入れ(ショートステイ(SS))、学生派遣(ショートビジット(SV))、受入れ・派遣の双方支援(SSSV)のプログラムについて、1,169件の申請があり、813件が採択(採択率70%)されています。本学からは、次の4つのプログラム、26名の交流人数が採択されました。

ショートステイ・ショートビジット(SS&SV)

東アジア国際教育実習プログラム -異文化理解マインドの創出へ向けて-

教育学部 谷口雅基教授

日本と台湾の環境農業教育プログラム

農学部 島崎一彦教授

ショートステイ(SS)

インドネシア特産カユプティ油の有効利用のための研究支援

農学部 大谷慶人 教授

黒潮圏温帯域における陸域生態系理解のためのフィールドワーク

黒潮圏総合科学専攻 石川慎吾教授

Topic 2. 7月19日、20日 海外留学説明会を実施

～経費の疑問から地球の歩き方まで～

海外留学を希望する学生を対象にした説明会を下記のとおり実施します。

今年度は説明終了後、英語圏、中国語圏及び韓国語圏のブースを設け、更に詳しく個別説明を行うようにしました。海外留学に興味のある学生さんがおられましたら、是非お声かけいただければ幸いです。

実施日時:平成23年7月19日(火)13:30～

平成23年7月20日(水)13:30～

物部(4-1-13番教室)

朝倉(222番教室)、岡豊(臨床講義棟第1講義室)

説明内容:

- ・留学の種類
- ・交換留学の説明
- ・TOEFL & IELTS について
- ・奨学金について
- ・公的な海外留学情報機関について
- ・保険加入について
- ・留学に係る危機管理
- ・留学体験談(釜山外国語大学(韓国))



昨年度の説明会の様子